

2011.07.22「菅直人4つの大罪」

こんにちは。参議院議員の西田昌司です。

本日は7月22日です。先程まで、参議院予算委員会で補正予算に対する総括審議がテレビ中継入りで行われておりました。これをご覧になった方は大勢いらっしゃると思います。相変わらず菅内閣の答弁は滅茶苦茶であり、全く質問に対する答えになっておりません。私自身、このことを国会の危機的状況であると痛切に感じ、いよいよ菅内閣は最後の最後まで来たという印象を持ちました。このような状況にある以上、一日も早い菅内閣の退陣が望まれますが、本日は菅内閣の4つの大罪についてお話したいと思います。

その一、それは震災復興の遅れであります。このことは菅直人という人物が総理であるところに根本的な問題があります。特に現在、第二次補正予算の審議を行っていますが、第一次補正は4兆円で5月の連休を返上して我々参議院でも審議を行ったものです。しかし、今回はたった2兆円規模の予算しかないので。そもそも第一次補正予算を審議している段階で、被害を受けたインフラの金額だけでも20兆円を超えてと言われていました。これに民間の被害を含めると30兆から40兆円程度の損害になります。復興する為には同程度のお金が必要ですが、ひとまず公的な部分だけでも10兆円以上のお金が必要です。ところが会期延長をしたのにも関わらず提示された金額は僅か2兆円でした。しかも、この2兆円の内訳はなにかというと、大半は地方交付税と予

備費で特に予備費は、4割を占めています。この予備費は支払先が限定されていない、予備の為に設けてあるものです。これでは一体なんの為に補正予算を組んだのかわかりません。そして2兆円という金額自体も昨年度の税収余剰分が2兆円程度あったから、そのお金を復興に回しておこうという魂胆なのでしょう。この剰余金というのは本来その半分以上を国債の消化に使わなければなりません、それを法律で使用目的を問わないようにして、それを財源に予備費として8000億円を計上しただけなのです。まさに補正予算を組んだだけで中身は何もないのです。更に、「借金をしていない」と彼らは主張していますが、本来、国債の返還に充てるべきものでこの予算を組んだわけでありますから、事実上は赤字国債で予備費を作ったことと同じことなのです。つまり全く意味のないことを今回の補正予算で行ったわけです。

それから電力不足の問題であります。菅氏が、原発のストレステストや、脱原発を推進する、と思いつきで発言した為に、日本全国で深刻な電力不足の問題が湧き上がりました。私の地元の関西では、本日福井県にある2つの原子力発電所が停まり、このままだと全国的にも来年の春に全ての原子力発電所が停まってしまう。電力供給の半分以上が無くなってしまえば、震災復興どころか産業活動自体が成り立ちません。このような状況を作り出しているのが、まさに「菅直人」その人で、流石に民主党の中からも「いいかげんにしろ」という空気が生まれていますし、海江田大臣も涙ながらも弁明をされていました。い

ずれに致しましても「菅直人」その人が震災復興の障害になっており、それが彼自身が一番大きな罪なのです。

その二は最近明らかになってきた、いわゆる「市民の会」や「市民の党」と言われる団体と非常に深く癒着している問題であります。民主党と菅氏の政治資金団体の草志会は合わせて約 2 億円ものお金を「市民の会」や「市民の党」に献金をしています。その献金されたお金の原資は何かと言えば、政党助成金ですから、彼らは税金で反日団体に献金を行っているのです。この団体が反日である証拠は、齋藤まさし氏が主宰するグループに北朝鮮の拉致実行犯が何人も関与をしているということです。このような団体に 2 億円ものお金を献金するということ自体、普通ありえません。また、このお金の原資は税金でありながら、2 人の民主党所属の国会議員が齋藤氏や事務局の女性を公設秘書として雇い入れています。つまり、反日活動家を税金で養っているのです。このことを本人が知っていなかったとしても、とんでもない罪ではありますが、知っていたのであるとすれば、スパイ活動の手助けをしたのに他なりません。いずれに致しましても反日団体と癒着し、日本を国家解体の危機に陥れたことも彼の罪であると思っております。

その三は皇室に対する不敬であります。彼の皇室に対する不敬で出鱈目な態度に、私は日本国民として怒り心頭に発しています。特に在位 20 周年記念式典の際に、彼は副総理の立場で出席しておきながら、天皇陛下の前で居眠りを

しました。言語道断であります。私も同席をしておりましたが腹立たしい気持ちで一杯でした。さらに先日の体育協会の総会では、天皇陛下も御出席されており、本来ならば総理大臣も出席しなければならない会であったのにもかかわらず、官房副長官を代理出席させ、式辞を読ませました。その時他の公務があったのかと言えさそうではなく、彼はただ官邸で休んでいただけなのです。官邸で休む時間があるのなら、天皇陛下が御出席される式典に参加するのは当然のことです。菅総理は被災地へ行く準備をしていたと言いますが、代理出席をした官房副長官は式典の後に菅総理と一緒に被災地の視察に行っています。つまり、総理大臣が出席できない理由は全くないわけです。このようなことを考えましても彼は皇室に対して全く尊敬の念を持っていないし、そもそも日本国民としての伝統的な DNA が無い彼が、総理大臣をやっていること自体が大間違いであると思っております。

そして、その四、決定的な問題点は、民主党が政権を取ったマニフェストが全て嘘と出鱈目であったということです。先日、岡田幹事長と菅氏が国会の答弁の中で謝罪されましたが、これは謝罪で済む話ではありません。思いつきの記者会見をするよりも、事の顛末を国民の前でしっかりと説明する謝罪会見を開き、詫びるべきです。この出鱈目なマニフェストと同じように、国会における答弁も全て嘘と出鱈目と言いつです。我々がまともな質問をしても、それにまともに答えず、次々と前言を翻して全く矛盾する答弁をし、その矛盾点を追

及していくと、また別の出鱈目を繰り返していきます。つまり、いくら議論をしても、彼らのような嘘つきとは議論が成立しないのです。

このように4つの大罪を勘案してみますと、もはや彼らが政権を執る能力、資質、資格はおろか、国会議員である資格すらありません。一刻も早く官邸に蔓延っている瓦礫を国民と一緒に撤去していかなければならないと強く感じた今日の予算委員会でありました。こうした情報はマスコミでは報道されませんので、是非ともこのビデオレターを多くの国民に拡散して頂き、菅内閣の実態を知って頂きたいと思います。今後とも皆様方のご支援よろしく願います。ありがとうございます。